



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 ラサ工業株式会社

コード番号 4022 URL <http://www.rasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 庄司 宇秀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 永戸 正規

TEL 03-3278-3892

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,649	△10.9	345	△60.8	119	△81.9	102	△80.4
24年3月期第2四半期	10,832	△11.0	881	8.4	658	20.8	524	268.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 38百万円 (△93.5%) 24年3月期第2四半期 592百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	1.30	—
24年3月期第2四半期	6.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	31,972	6,992	21.6	87.10
24年3月期	31,763	6,954	21.7	86.76

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 6,906百万円 24年3月期 6,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,400	△2.7	900	△42.1	500	△58.0	450	△67.5	5.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	79,442,038 株	24年3月期	79,442,038 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	141,459 株	24年3月期	140,493 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	79,301,190 株	24年3月期2Q	79,302,990 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年5月15日発表の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成24年11月6日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州をはじめとする海外景気の悪化による輸出の減少や、円高傾向の定着等により、景気の減速感が強まりました。

このような環境のなかで、当社グループといたしましては、新たに策定しました3ヶ年の中期経営計画に基づき、業績の向上に努めて参りました。

しかしながら、主要顧客である電子部品・半導体関連業界の、生産調整の影響により、当第2四半期連結累計期間は、売上高96億49百万円（前年同期比10.9%減）、営業利益3億45百万円（前年同期比60.8%減）、経常利益1億19百万円（前年同期比81.9%減）、四半期純利益は1億2百万円（前年同期比80.4%減）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次のとおりであります。

①化成事業

燐酸などの燐系製品につきましては、一般品および二次塩類等の出荷量は、国内需要が芳しくなく総じて減少傾向となりました。また、電子工業向け高純度品についても、ユーザーの需要低迷により、前年同期比では大幅な減収となりました。

水処理用などの凝集剤は、上下水道向けの出荷数量は比較的堅調に推移したものの、プリント基板向けなどの減少により、若干の減収となりました。コンデンサー向け原料は、主に販売単価の下落により減収となり、また消臭剤は、顧客の在庫調整の影響から減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、62億70百万円（前年同期比12.4%減）、セグメント利益（営業利益）は、主要原料価格の上昇もあり2億83百万円（前年同期比60.6%減）となりました。

②機械事業

破碎関連機械につきましては、廃材処理向けなどの需要の増加から、単体機械販売が大きく売上を伸ばし、消耗部品も堅調に推移しました。鋳鋼品は、自社部品向けは好調であったものの、外販品が落ち込み減収となりました。

下水道関連の掘進機は、本体販売は前年比で好調に推移したものの、レンタル物件の低迷により減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、19億73百万円（前年同期比2.5%減）、セグメント利益（営業利益）は、1億34百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

③電子材料事業

化合物半導体向け高純度無機素材につきましては、赤燐、インジウムが比較的順調に推移したものの、発光ダイオードなどの関連業界の低迷が続いた為、ガリウムの出荷量が大幅に減少したことから減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、7億68百万円（前年同期比10.1%減）、セグメント利益（営業利益）は、1億20百万円（前年同期比45.9%減）となりました。

④その他

石油精製用触媒の再生事業は、定期修理による設備休止があり減収となりましたが、収益面では堅調に推移しました。精密機械加工は、液晶製造装置向けの部品加工が大幅な減少となり減収となりました。不動産の賃貸は、若干の増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、連結子会社の解散による減少もあり6億36百万円（前年同期比20.3%減）、セグメント利益（営業利益）は、2億82百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べて7億46百万円増加し、157億78百万円となりました。この主な増減理由としては、現金及び預金の増加6億57百万円、たな卸資産の増加1億28百万円などによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べて5億37百万円減少したことにより、161億93百万円となりました。この主な増減理由としては、有形固定資産の減少2億71百万円、投資有価証券の減少1億39百万円などによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債につきましては、主として長期借入金が5億36百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が4億96百万円減少したことなどによって、前連結会計年度末に比べて1億69百万円増加し249億79百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産につきましては、四半期純利益1億2百万円の計上、及び為替換算調整勘定の増加73百万円があった一方、その他有価証券評価差額金が1億49百万円減少したことなどによって、前連結会計年度末に比べて38百万円増加し69億92百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における資産合計は319億72百万円となり、自己資本比率は21.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ6億57百万円増加し、56億56百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は4億55百万円となりました。主な増加内訳は、税金等調整前四半期純利益1億15百万円、減価償却費5億71百万円、その他の負債の増加1億42百万円及び売上債権の減少82百万円、また、主な減少内訳は仕入債務の減少4億94百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億80百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出3億6百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は4億65百万円となりました。主な内訳は、長期借入による収入25億円及び長期借入金の返済による支出18億83百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、日本経済は、欧州債務問題の長期化に起因する欧州経済の低迷、新興国経済の成長鈍化などによる世界景気の悪化に加え、円高の定着、近隣諸国との関係悪化などにより、景気の先行き不透明感が強まって参りました。

このような状況の中、電子部品・半導体関連市場はスマートフォン等の需要はあるものの、パソコンやデジタル家電需要の減退により、全体としては低迷が続くものと想定しております。

このような見通しを踏まえ、化成品事業においては、拡販並びにコストダウンその他の対策を図ることで、収益の改善が見込まれますが、当面は、全体として厳しい状況が続くものと想定しております。また、電子材料事業においても、同様に高純度無機素材の収益は低調に推移するものと予想しております。なお、機械事業は、下水道関連の掘進機について、海外向けの販売が円高リスクはあるものの、積極的な営業により堅調な販売を予想しております。一方、破碎関連機械は、廃材処理向けの受注が引き続き好調であり、業績は順調に推移するものと見込んでおります。

これらの見通し及び第2四半期累計期間の進捗状況を踏まえ、売上高については204億円、営業利益9億円、経常利益5億円、また当期純利益4億50百万円となるものと予想しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,999	5,656
受取手形及び売掛金	6,427	6,348
商品及び製品	1,450	1,388
仕掛品	938	1,103
原材料及び貯蔵品	788	813
その他	439	489
貸倒引当金	△10	△21
流動資産合計	15,032	15,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,728	5,586
機械装置及び運搬具(純額)	2,268	2,022
工具、器具及び備品(純額)	318	299
土地	5,159	5,155
リース資産(純額)	40	40
建設仮勘定	213	352
有形固定資産合計	13,728	13,457
無形固定資産		
借地権	919	919
その他	26	22
無形固定資産合計	946	941
投資その他の資産		
投資有価証券	1,233	1,094
その他	862	775
貸倒引当金	△40	△75
投資その他の資産合計	2,056	1,794
固定資産合計	16,730	16,193
資産合計	31,763	31,972

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,560	3,064
短期借入金	12,460	12,409
未払法人税等	65	47
賞与引当金	100	125
その他	1,306	1,458
流動負債合計	17,493	17,105
固定負債		
長期借入金	4,921	5,457
退職給付引当金	1,617	1,667
その他	776	749
固定負債合計	7,315	7,874
負債合計	24,809	24,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,443	8,443
利益剰余金	△1,250	△1,147
自己株式	△34	△34
株主資本合計	7,158	7,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△140	△289
為替換算調整勘定	△137	△64
その他の包括利益累計額合計	△278	△354
少数株主持分	74	85
純資産合計	6,954	6,992
負債純資産合計	31,763	31,972

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	10,832	9,649
売上原価	7,992	7,330
売上総利益	2,840	2,318
販売費及び一般管理費	1,958	1,972
営業利益	881	345
営業外収益		
受取配当金	11	6
受取地代家賃	19	21
助成金収入	69	26
デリバティブ評価益	—	24
貯蔵品売却益	56	—
その他	39	28
営業外収益合計	196	108
営業外費用		
支払利息	188	180
休止鉱山鉱害対策費用	46	60
その他	184	94
営業外費用合計	420	335
経常利益	658	119
特別損失		
減損損失	34	3
災害による損失	31	—
投資有価証券評価損	23	—
その他	18	—
特別損失合計	108	3
税金等調整前四半期純利益	550	115
法人税、住民税及び事業税	33	35
法人税等調整額	△11	△17
法人税等合計	21	18
少数株主損益調整前四半期純利益	528	96
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4	△6
四半期純利益	524	102

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	528	96
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	△149
為替換算調整勘定	108	91
その他の包括利益合計	64	△57
四半期包括利益	592	38
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	575	27
少数株主に係る四半期包括利益	17	11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	550	115
減価償却費	667	571
賞与引当金の増減額(△は減少)	△36	24
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△19	49
受取利息及び受取配当金	△13	△8
支払利息	188	180
デリバティブ評価損益(△は益)	—	△24
減損損失	34	3
災害損失	31	—
投資有価証券評価損益(△は益)	23	—
売上債権の増減額(△は増加)	171	82
たな卸資産の増減額(△は増加)	21	△120
その他の資産の増減額(△は増加)	202	49
仕入債務の増減額(△は減少)	△206	△494
その他の負債の増減額(△は減少)	223	142
その他	133	94
小計	1,972	666
利息及び配当金の受取額	13	9
利息の支払額	△190	△174
法人税等の支払額	△49	△50
法人税等の還付額	18	5
保険金の受取額	482	—
災害損失の支払額	△54	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,192	455
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△214	△306
その他	32	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△182	△280
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△108	△146
長期借入れによる収入	2,000	2,500
長期借入金の返済による支出	△2,151	△1,883
少数株主からの払込みによる収入	100	—
その他	△4	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△163	465
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,835	657
現金及び現金同等物の期首残高	4,700	4,999
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,536	5,656

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品 事業	機械 事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	7,154	2,024	855	10,034	798	10,832	—	10,832
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8	—	19	28	44	72	△72	—
計	7,162	2,024	874	10,062	842	10,905	△72	10,832
セグメント利益	719	137	223	1,080	276	1,356	△474	881

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密機械加工、一般産業機械の製造・販売、石油精製用触媒再生及び不動産の売買・賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△474百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△468百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品 事業	機械 事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	6,270	1,973	768	9,012	636	9,649	—	9,649
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6	—	—	6	13	19	△19	—
計	6,276	1,973	768	9,019	649	9,668	△19	9,649
セグメント利益	283	134	120	538	282	821	△475	345

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密機械加工、石油精製用触媒再生及び不動産の売買・賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△475百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△479百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。